

第2章 みどりの現況と区民意識

1 みどりの現況

緑被の状況

区全体の緑被地^{注1)}の面積は約1,160ha、緑被率は24.1%となっています。

緑被地の所有別の内訳は、公共のみどりが289ha、民有が871haであり、民有地のみどりが約4分の3を占めています。10年前と比べると、緑被地が約95ha、緑被率は2ポイント減少しました。また、公共のみどりが約42ha増加したのに対し、民有地のみどりは約137ha減少しています。

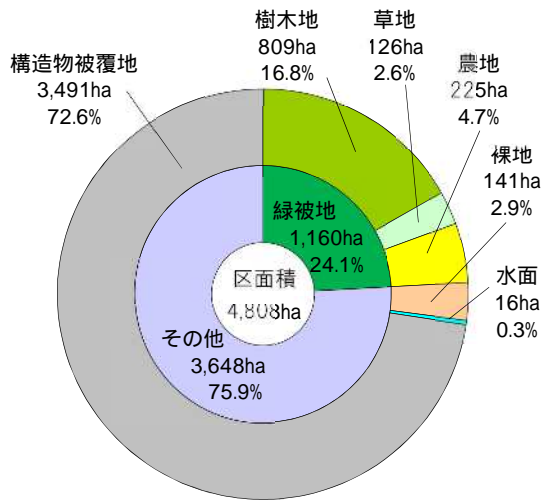


図1 緑被等の現況

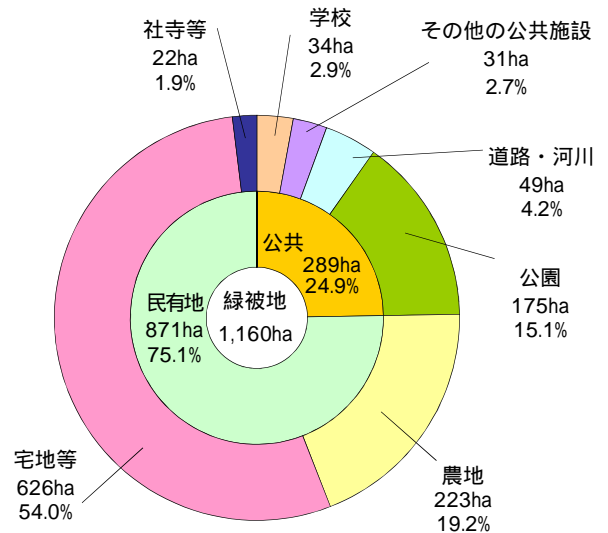


図2 所有別・土地利用別緑被地の内訳

資料：「練馬区みどりの実態調査(平成29年3月)」より作成

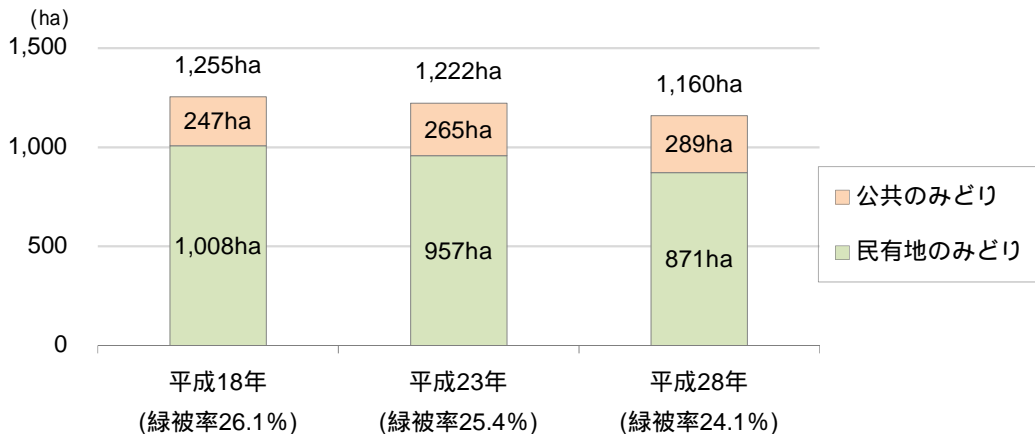


図3 公共・民有地の緑被面積の推移

資料：「練馬区みどりの実態調査(平成29年3月)」より作成

注1) 緑被地：上空から見て樹木地や草地、農地で覆われている土地のこと。区域面積における緑被地の面積割合を緑被率という。

宅地等

宅地等のみどりは、10年前と比べると約82ha減少しており、減少割合も増えています。また、区の約半分を占める低層住宅地域の緑被率と中高層住宅地域の緑被率を比べると、中高層住宅地域の方が高くなっています。生け垣は10年前と比べると1,324か所、約15km増えましたが、5年前と比べると約6km減っています。

宅地等のみどりの減少は、相続等による敷地の細分化や維持管理の負担によるものと考えられます。

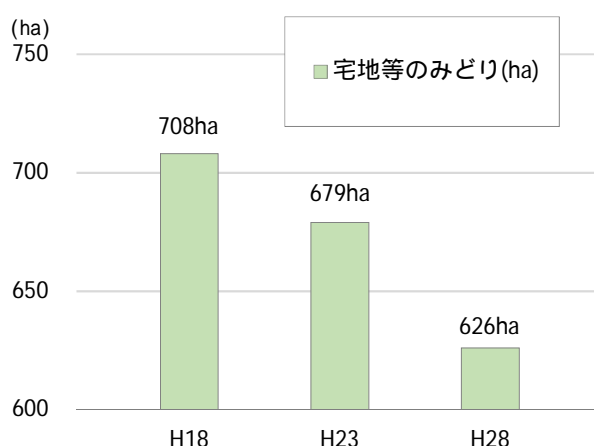


図4 宅地等の緑被面積の推移

資料：「練馬区みどりの実態調査(平成29年3月)」より作成

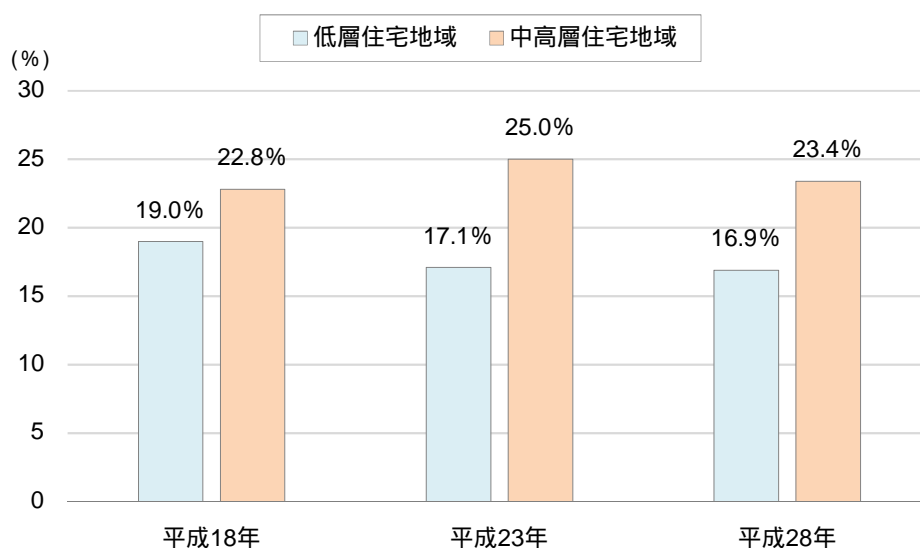


図5 低層住宅地域と中高層住宅地域の緑被率の比較

資料：「練馬区みどりの実態調査(平成29年3月)」より作成

農地

生産緑地の指定が始まった平成4年と比べると、平成29年には平成4年の半分以下の209haまで減っています。特に、宅地並みに課税される宅地化農地が約1割と大幅に減少していますが、生産緑地も4分の3まで減っています。

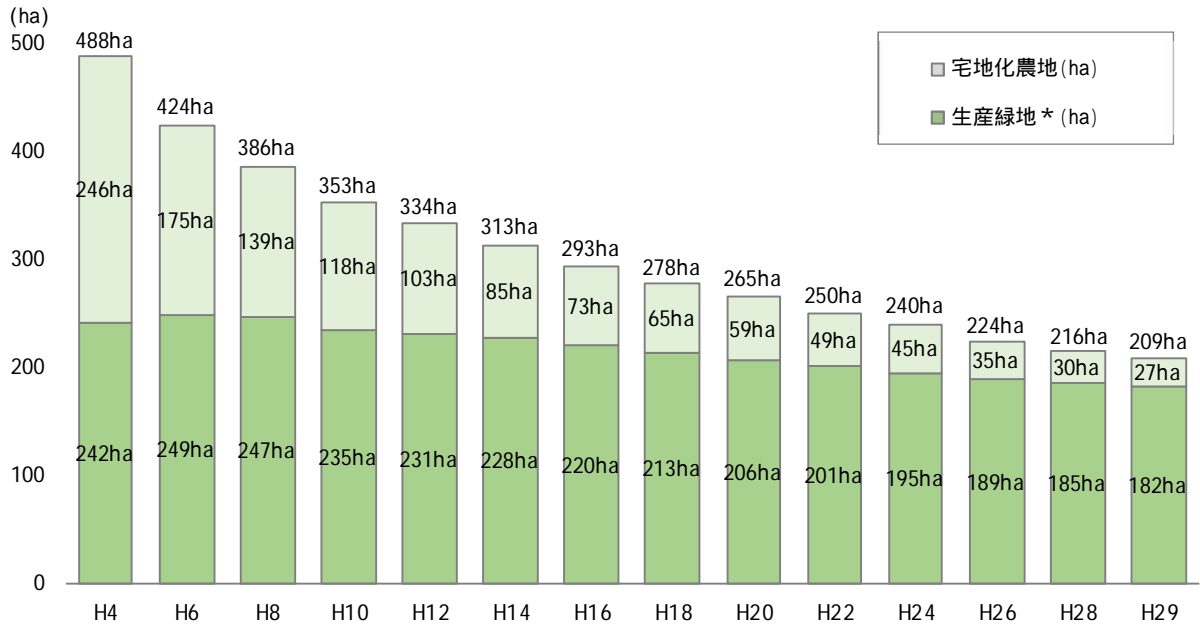


図6 農地面積の推移

* 生産緑地の面積は、各年の告示面積に基づく数値
* 農地面積は、各年1月1日現在の課税面積に基づく数値

公園

区はこれまでに、積極的に公園整備を進め、過去10年間（平成18年度～27年度）で約326億円をかけた結果、面積は約15ha（約18%）増加しました。

平成30年4月1日現在の都立公園等を含めた区内の公園の総面積は約210ha、区民一人当たりの公園面積は2.87㎡となっています。公園のみどりは公共のみどりの約60%を占めています。

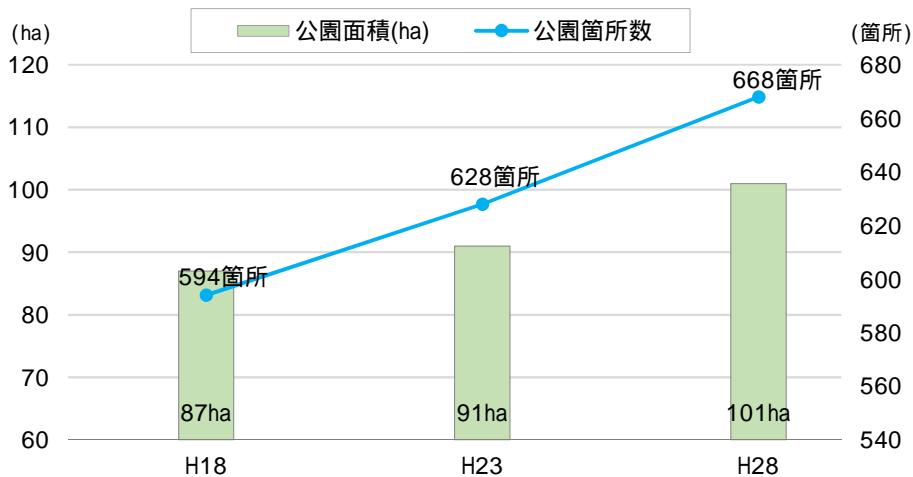


図7 区立公園面積と箇所数の推移

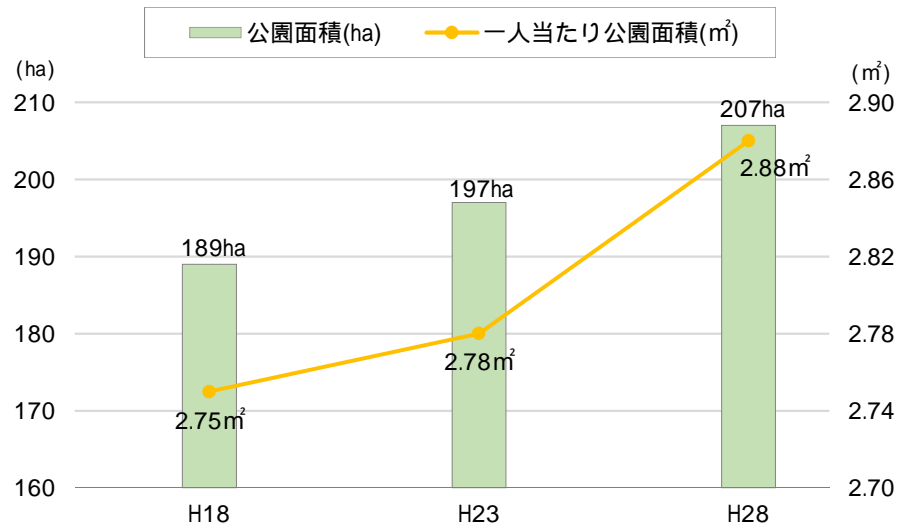


図8 区内の公園面積と区民一人当たりの公園面積（都立公園含む）

表1 公園等の内訳（平成30年4月1日現在）

| 種類 | | 箇所数 | 面積(m ²) |
|------|-------|-----|---------------------|
| 区立公園 | 公園 | 205 | 789,751.16 |
| | 児童遊園 | 219 | 90,850.16 |
| | 緑地・緑道 | 250 | 146,455.29 |
| | 市民農園 | 3 | 9,539.00 |
| 小計 | | 677 | 1,036,595.61 |
| 都立公園 | | 4 | 1,059,970.76 |
| 計 | | 681 | 2,096,566.37 |

道路・河川

道路・河川のみどりは、公共のみどりの約17%を占めています。道路の緑被率は、幅員や樹種によって異なりますが、幅員15m以上の道路の緑被率の平均は20.5%となっています。

河川では、河川改修に伴い河川区域の緑化が進み、石神井川の緑被率は43.3%、白子川は39.5%となっています。河川に向かって樹木の枝が大きく伸びているため、道路と比べ緑被率は高くなっています。

2 区民の意識変化

身近なみどりの満足度

「満足している」、「おおむね満足している」を合わせた『満足評価』は66.6%です。一方、『不満評価』は2割半ばとなっています。

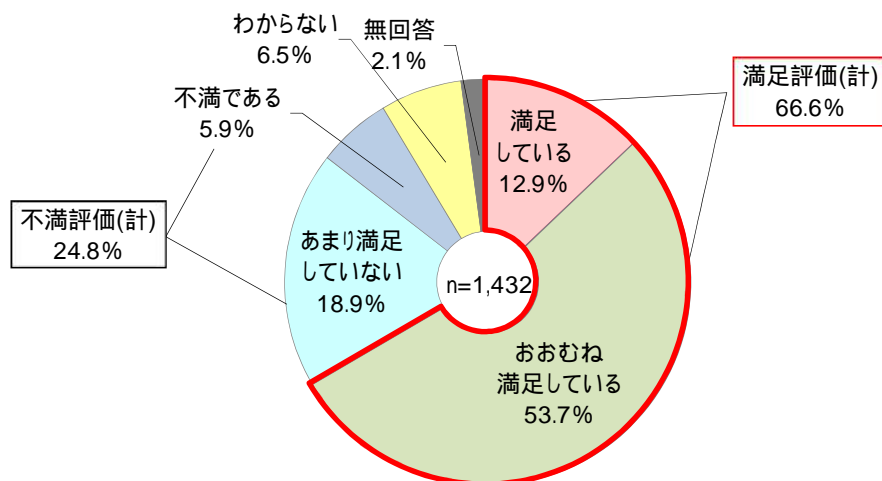


図9 身近にあるみどりに対する満足度

資料：「平成27年度区民意識意向調査報告書」より作成

全体のみどりの満足度

「満足している」、「おおむね満足している」を合わせた『満足評価』は69.8%です。一方、『不満評価』は約2割となっています。

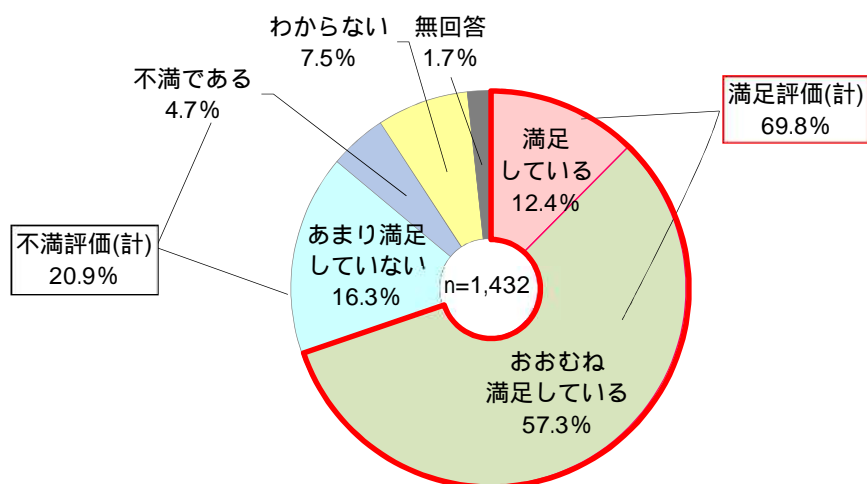


図10 区全体のみどりに対する満足度

資料：「平成27年度区民意識意向調査報告書」より作成

身近なみどりの量の実感

「とても増えていると思う」、「増えていると思う」、「あまり変わっていないと思う」を合わせると、5割を超える区民は『みどりが増えている、もしくは変わっていない』と実感しています。一方、『減っている』と実感している区民は、3割半ばとなっています。

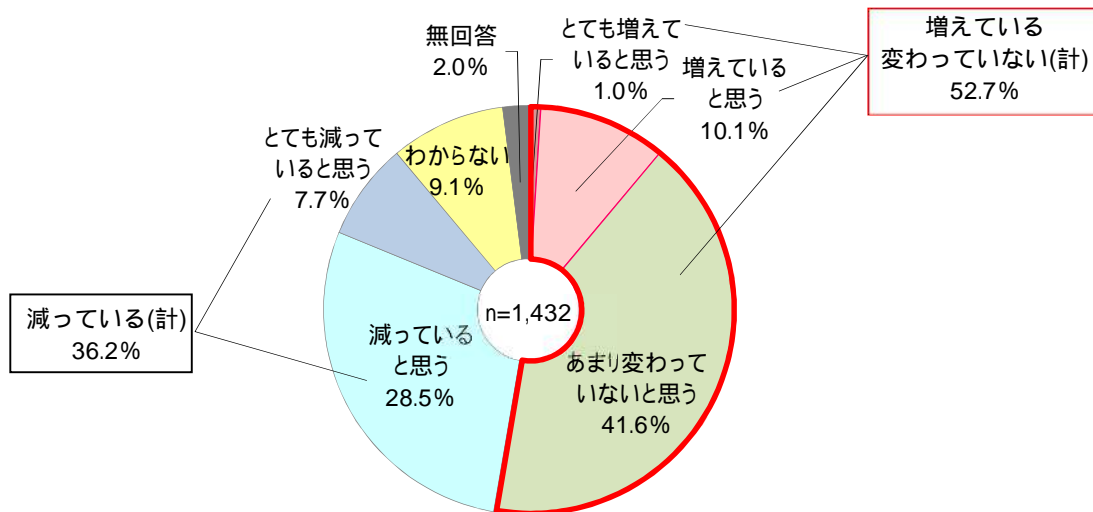


図11 身近なみどりの量についての実感

資料：「平成27年度区民意識意向調査報告書」より作成

全体のみどりの量の実感

「とても増えていると思う」、「増えていると思う」、「あまり変わっていないと思う」を合わせると、5割近くの区民は『みどりが増えている、もしくは変わっていない』と実感しています。一方、「減っている」と実感している区民は、4割弱となっています。みどりの量の実感と緑被率の増減は必ずしも関連していないと考えられます。

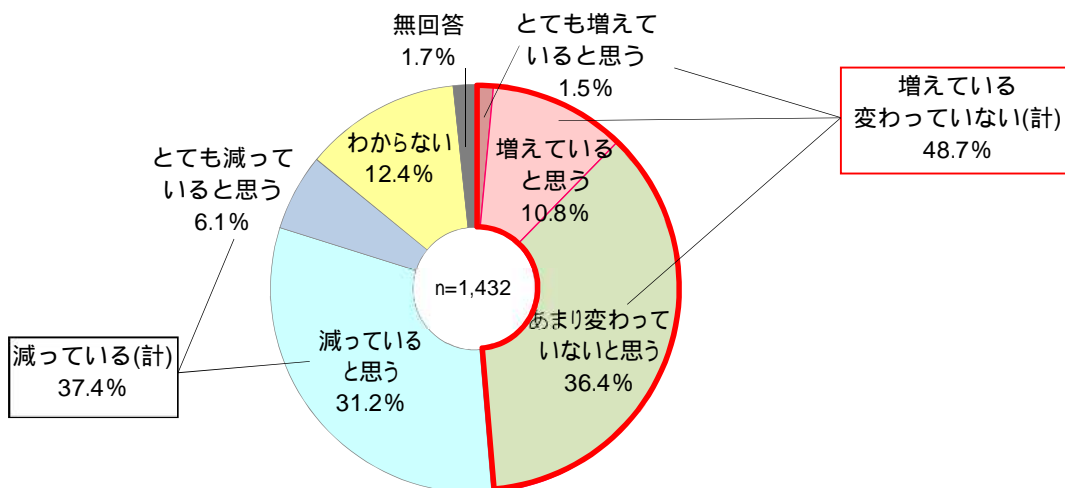


図12 区全体のみどりの量についての実感

資料：「平成27年度区民意識意向調査報告書」より作成

大切にしたいみどり

大切なみどりや減らしてほしくないみどりは、「公園のみどり」が6割を超え、ついで「街路樹のみどり」が5割を超えています。屋敷林や住宅のみどりに対する認識は低いことが伺えます。

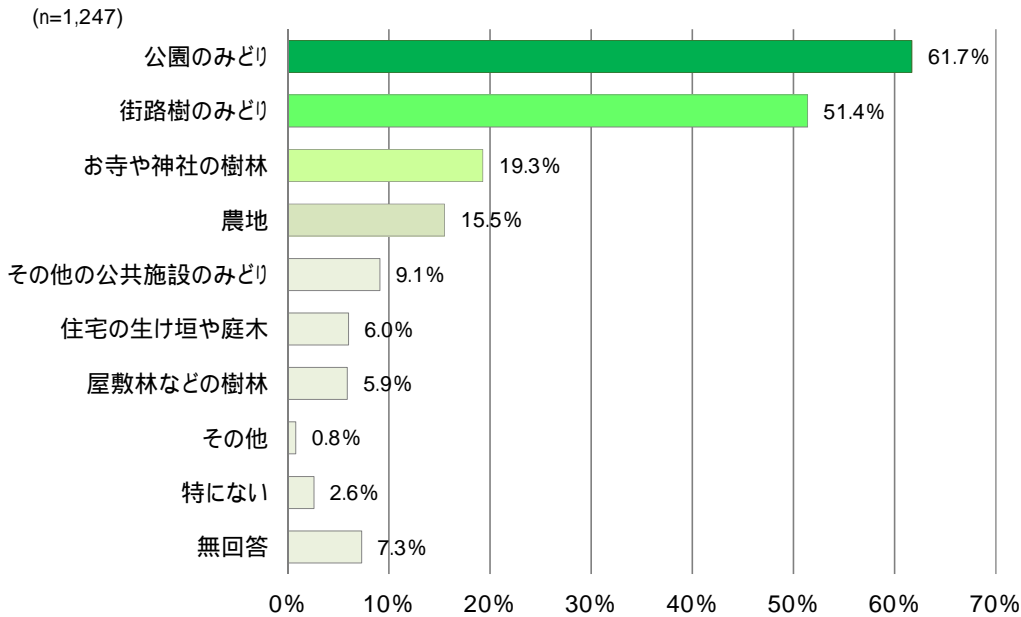


図13 大切なみどりや減らしてほしくないみどり

資料：「平成28年度区民意識意向調査報告書」より作成

民有地のみどりを守るための協働への意識

「地域の住民が落ち葉清掃等に協力」「地域の良好な景観を守るために、地域の住民も協力」を合わせた『地域の住民も協力すべき』と考える区民が5割を超えているのに対し、「区が予算を確保して所有者を支援すべき」は2割弱程度となっています。区民のみどりを守るための協働への意識が高いことが伺えます。

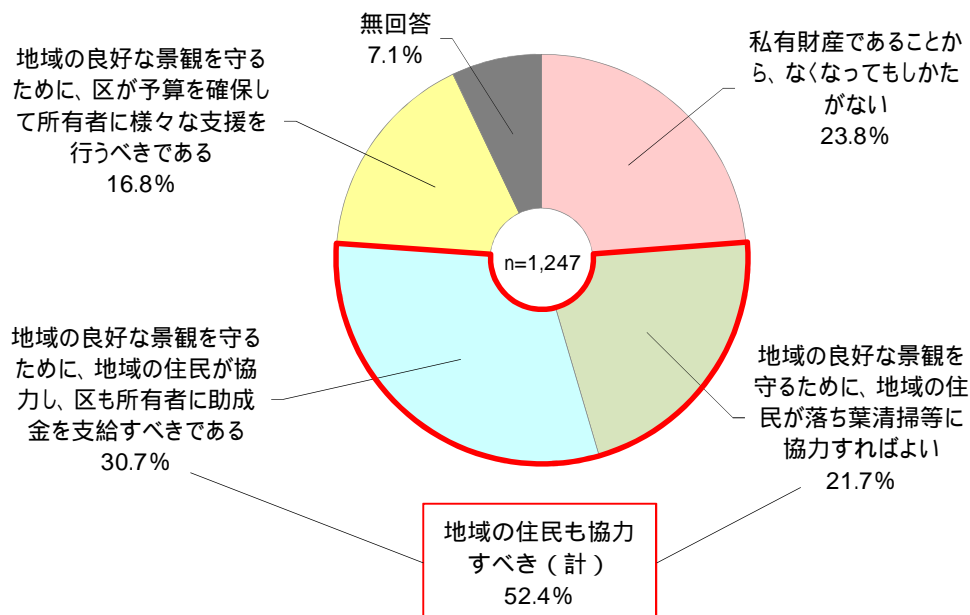


図14 民有地のみどりの保全について

資料：「平成28年度区民意識意向調査報告書」より作成

地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加

「都合があれば参加したい」、「一回くらいは参加してみたい」、「積極的に参加したい」を合わせた『参加したい』は5割半ばとなっています。さらに、「個人的に清掃はしたい」を合わせると8割近くを占めています。

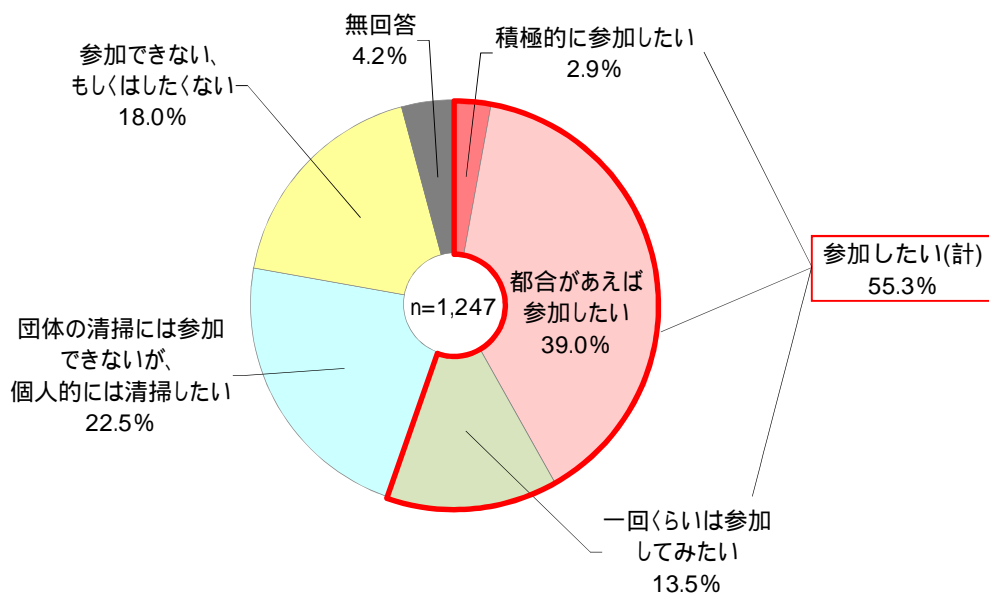


図15 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加意向

資料：「平成28年度区民意識意向調査報告書」より作成

落ち葉清掃のボランティアを行ってみたい場所については、「公園や憩いの森などの公共の場所」と回答した区民が7割近くで最も多く、次いで、「道路や河川沿いの歩道」、「神社やお寺」の順となっています。

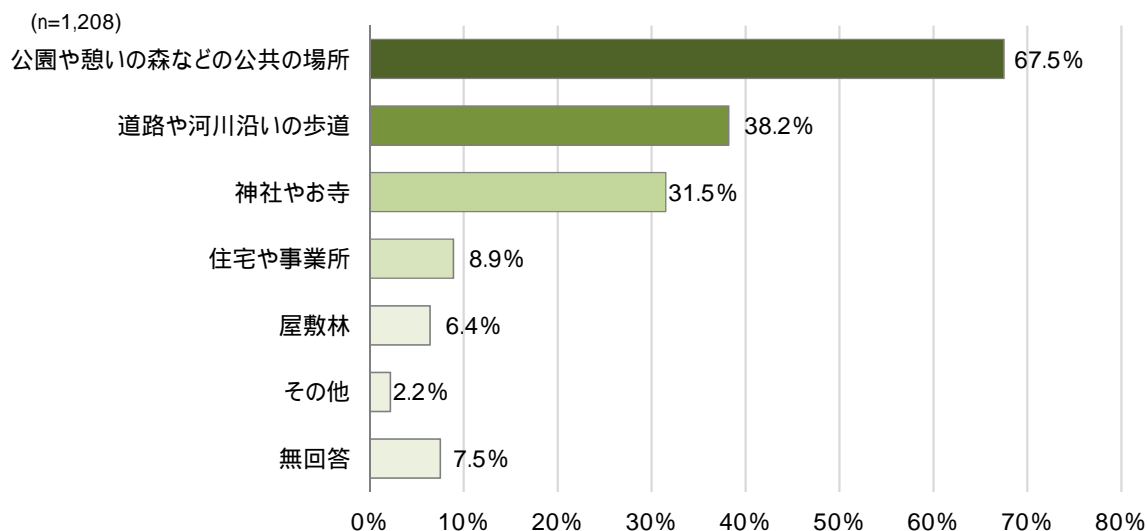


図16 落ち葉清掃のボランティアを行ってみたい場所

資料：「平成30年度区民意識意向調査報告書」より作成

自主管理公園制度^{注1)}への参加

「不定期で良ければ参加したい」、「団体に入らず、活動の手伝いとして参加したい」、「近くの公園で取組を始めたい」、「既存団体があれば定期的に参加したい」をあわせた『参加してみたい』は3割半ばとなっています。一方、「参加できない・したくないと思わない」は5割半ばとなっています。

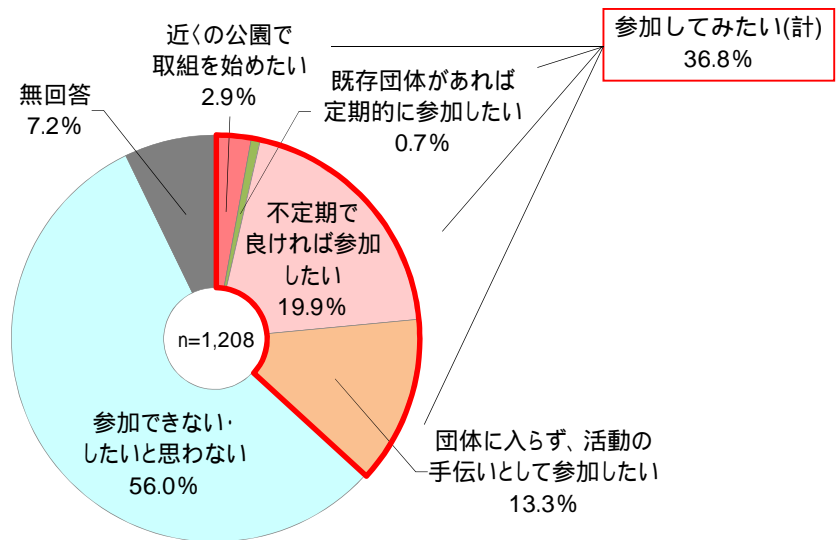


図17 自主管理公園制度への参加意向

資料：「平成30年度区民意識意向調査報告書」より作成

注1) 自主管理公園制度：地域の住民が公園の清掃等の管理を担う制度。